

中条町商工会景況調査報告書

0. 調査要領

(1) 調査対象

- ア 対象地区 中条町商工会及び黒川商工会地区内小規模事業者
- イ 調査企業数 580 事業所
- ウ 回答企業数 271 事業所 (回答率 46.7%)

(2) 調査対象期間

- 令和5年1月～令和5年12月
- (調査時点 令和5年1月1日)

(3) 調査方法

- 調査票を郵送、返信用封筒にて回収(経営指導員等が窓口、巡回指導時にヒアリング調査も実施)

(4) 調査対象と回答企業の構成

a 業種

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	60	10.3%	39	13.0%
建設業	185	31.9%	90	30.1%
卸・小売業	115	19.8%	61	20.4%
サービス他	220	37.9%	109	36.5%
合計	580	100.0%	299	100.0%

b 従業員数

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
0人	158	27.2%	80	26.5%
1人～2人	217	37.4%	79	26.2%
3人～5人	131	22.6%	51	16.9%
6人～20人	45	7.8%	57	18.9%
20人超	29	5.0%	35	11.6%
合計	580	100.0%	302	100.0%

c 後継者の有無

	製造	建設	卸・小売	サービス他	有効回答	
					企業数合計	構成比
有	10	28	14	26	78	30.7%
無	19	53	34	70	176	69.3%
合計	29	81	48	96	254	100.0%

1. 地域内産業全体の景況概要

【売上高】

前年同期比において、全体業種合計で43%が減少と回答しており、全業種未だ厳しい状況が伺える。
今後の見通しについても依然厳しい状況が見込まれ、増加と回答している業種が少なくなっており、建設業、卸・小売業では約80～90%が不変、減少と回答している。

・前年同期比

	製造	建設	卸・小売	サービス他	合計
増加	9	24	9	34	76
不変	5	28	11	28	72
減少	15	29	30	37	111
合計	29	81	50	99	259

・今後の見通し

	製造	建設	卸・小売	サービス他	合計
増加	4	6	4	16	30
不変	12	45	14	45	116
減少	13	29	30	37	109
合計	29	80	48	98	255

【採算（経常利益）】

売上同様に悪化の傾向が強く、売上高の減少が採算に多大な影響を及ぼしていることが伺える。今後の見通しについては、不変及び悪化の傾向が強くなっており、利益確保が厳しい状況と伺える。

・前年同期比

	製造	建設	卸・小売	サービス他	合計
好転	4	16	5	19	44
不変	9	33	17	39	98
悪化	15	32	29	40	116
合計	28	81	51	98	258

・今後の見通し

	製造	建設	卸・小売	サービス他	合計
好転	2	7	1	9	19
不変	16	45	17	49	127
悪化	11	27	30	39	107
合計	29	79	48	97	253

【仕入単価】

仕入単価に関しては、物価高騰の影響により全業種の利益を圧迫していることが伺える結果となった。今後の見通しについても同様の推移と見込まれており、業種別に見ると建設業では66%、サービス業では62%が上昇と見込んでいる。

・前年同期比

	製造	建設	卸・小売	サービス他	計
上昇	25	63	37	69	194
不変	1	12	6	20	39
低下	1	5	8	7	21
合計	27	80	51	96	254

・今後の見通し

	製造	建設	卸・小売	サービス他	計
上昇	17	51	32	59	159
不変	10	24	12	28	74
低下	0	2	7	8	17
合計	27	77	51	95	250

【販売（客）単価】

前年同期比においては、物価高騰の影響があったが、不変と回答した業種が多く占めている。今後の見通しについても不変と回答した業種が多く占めているが、製造業では約40%近く販売単価を上昇させ、単価を見直すとの回答となっている。

・前年同期比

	製造	建設	卸・小売	サービス他	計
上昇	8	25	11	35	79
不変	15	47	19	50	131
低下	4	7	20	11	42
合計	27	79	50	96	252

・今後の見通し

	製造	建設	卸・小売	サービス他	計
上昇	9	20	9	22	60
不変	14	49	17	58	138
低下	1	8	22	15	46
合計	24	77	48	95	244

【資金繰り】

今後の見通しについて、製造業、卸・小売業及びサービス業で増加と回答した企業がないとの結果になり、仕入代の価格高騰により資金繰りが難しくなっていることが伺える。

・前年同期比

	製造	建設	卸・小売	サービス他	計
増加	1	9	0	8	18
不変	15	56	29	57	157
減少	12	19	21	29	81
合計	28	84	50	94	256

・今後の見通し

	製造	建設	卸・小売	サービス他	計
増加	0	4	0	0	4
不変	16	57	24	25	122
減少	11	18	23	24	76
合計	27	79	47	49	202

【雇用動向】

前年同期比・今後の見通しともに不変・減少の回答が大半を占め、増加と回答する業種が少ない。今後の雇用動向については卸・小売業とサービス業において増加と見込まれると回答した企業がないとの結果となった。

・前年同期比

	製造	建設	卸・小売	サービス他	計
増加	2	7	3	5	17
不変	16	57	28	74	175
減少	7	15	10	11	43
合計	25	79	41	90	235

・今後の見通し

	製造	建設	卸・小売	サービス他	計
増加	0	6	2	2	10
不変	19	61	29	76	185
減少	6	10	10	13	39
合計	25	77	41	91	234

【景況判断】

全体的に不変、悪化が多く、県内経済同様に当分の間厳しい状況が続くと思われる。業種別にみても全業種、物価高騰の影響で好転と回答した業種が少なく、先行きが不安視される。

・前年同期比

	製造	建設	卸・小売	サービス他	合計
好転	2	14	10	21	47
不変	11	50	16	62	139
悪化	15	11	32	14	72
合計	28	75	58	97	258

・今後の見通し

	製造	建設	卸・小売	サービス他	合計
好転	4	5	2	5	16
不変	13	44	13	42	112
悪化	13	25	35	32	105
合計	30	74	50	79	233

2. 物価高騰による現在の状況

	製造	建設	卸・小売	サービス他	合計
1 大きく影響を受けている	20	48	34	65	167
2 影響は少なくなっている	6	28	11	25	70
3 ほとんど影響はなくなった	2	5	1	8	16

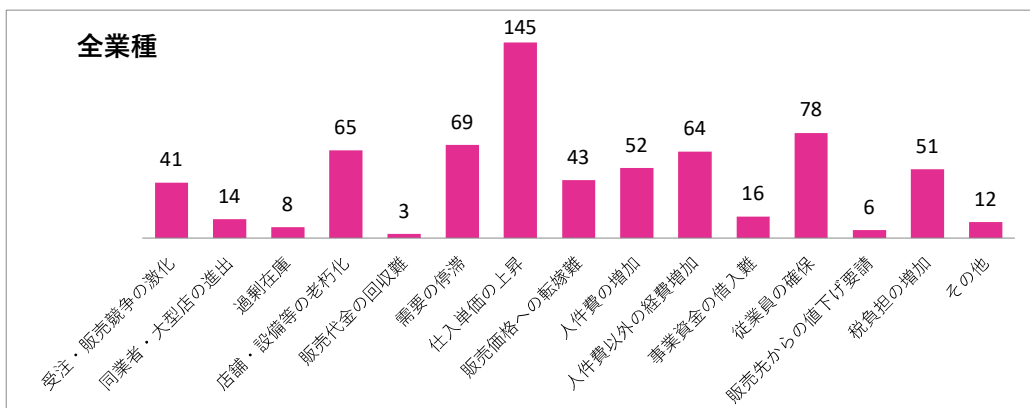
(1と回答の場合のみ) その理由

- ・仕入代、材料代が高くなっている
- ・水道光熱費、灯油代が高騰している
- ・消耗品、雑費等が高くなっている
- ・ガソリン、軽油代が上がっている

3. 経営上の問題点

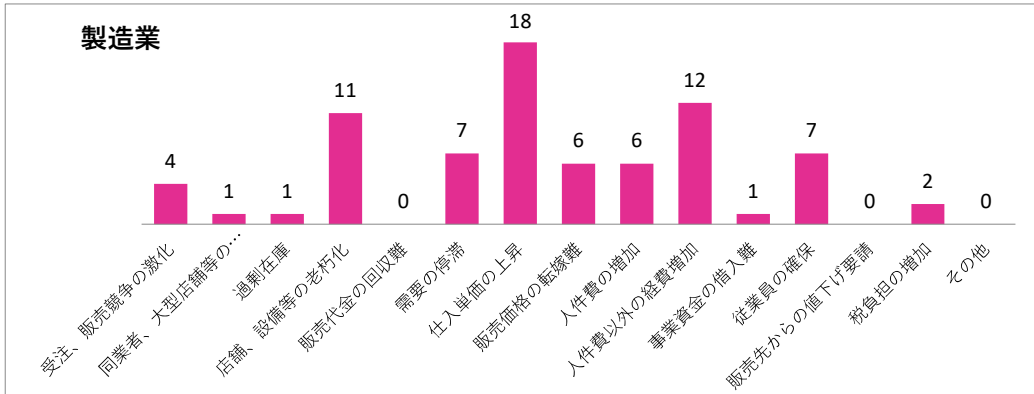
○全業種

今回の調査では「仕入単価の上昇」が1位となっており、長引く世界情勢の影響により物価高騰に歯止めがかからず、大きな影響が及んでいることが判明した。次いで製造業で「人件費以外の経費増加」、サービス業で「店舗、設備等の老朽化」、卸・小売業で「需要の停滞」、建設業で「従業員の確保」が上位を占めており、経営資源への対策が急務であることが伺える。



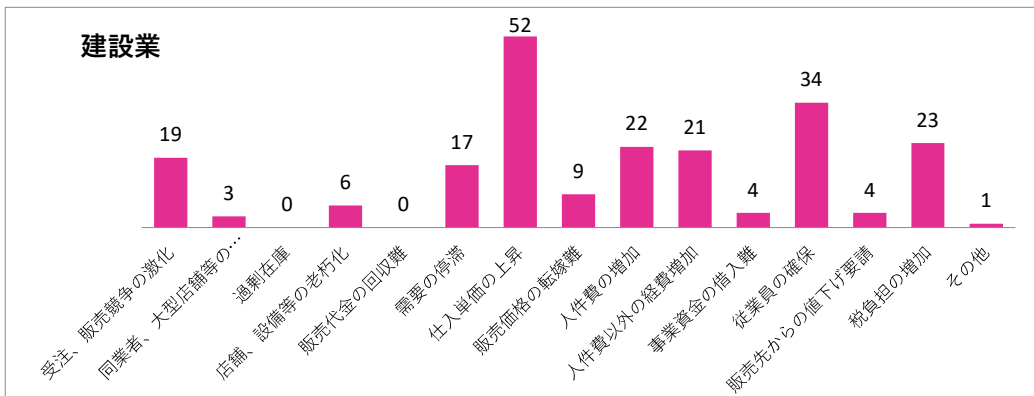
○製造業

製造業の調査では「仕入単価の上昇」が1位となっており、長引く世界情勢の影響により物価高騰に歯止めがかからず、大きな影響が及んでいることが判明した。
次いで「人件費以外の経費の増加」が上位を占めており、仕入及び消耗品費等の経費が嵩んでいることが見受けられる。



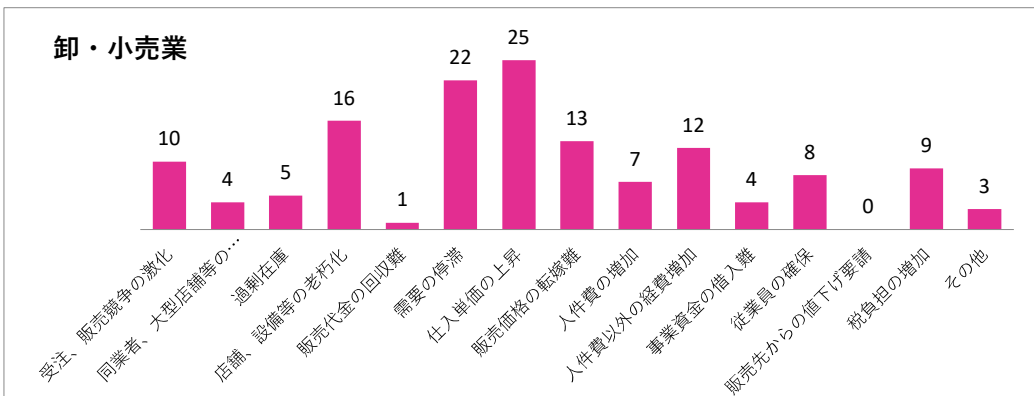
○建設業

建設業の調査では「仕入単価の上昇」が1位となっており、長引く世界情勢の影響により物価高騰に歯止めがかからず、大きな影響が及んでいることが判明した。
次いで「従業員の確保」が上位を占めており、少子高齢化による現役世代の減少により働く担い手が減少していることが伺える。



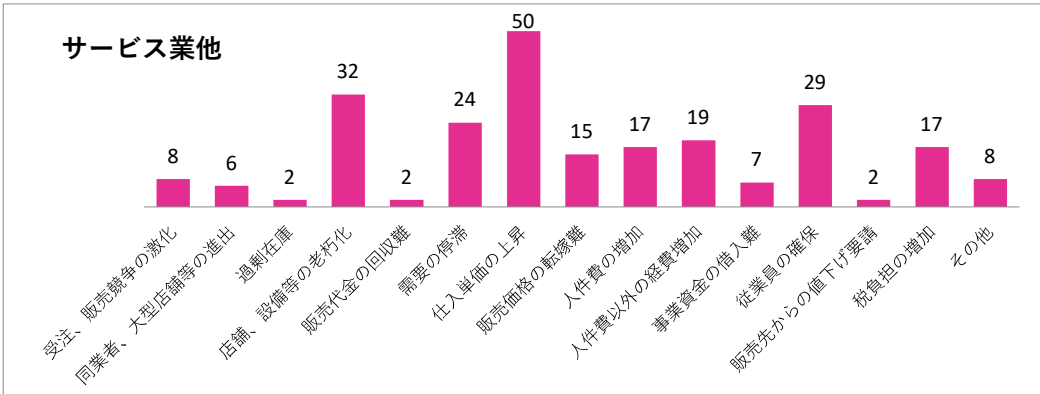
○卸・小売業

卸・小売業の調査では「仕入単価の上昇」が1位となっており、長引く世界情勢の影響により物価高騰に歯止めがかからず、大きな影響が及んでいることが判明した。
次いで「需要の停滞」が上位を占めており、物価高騰の影響により不要不急な購入は避け、節約志向型の傾向が見受けられることが伺える。



○サービス業

サービス業の調査では「仕入単価の上昇」が1位となっており、長引く世界情勢の影響により物価高騰に歯止めがかからず、大きな影響が及んでいることが判明した。次いで「店舗、設備の老朽化」「従業員の確保」が上位を占めており、経営資源への対策も急務になっていることが伺える。



4. インボイス制度導入について

①インボイス登録状況

	製造	建設	卸・小売	サービス他	合計
登録した	23	73	34	61	191
登録予定	0	0	0	4	4
登録しない	6	8	15	33	62
合計	29	81	49	98	257

②インボイス導入前の消費税課税形態

	製造	建設	卸・小売	サービス他	合計
課税事業者	20	63	30	50	163
免税事業者	3	10	3	13	29
合計	23	73	33	63	192

③インボイスを登録したことによる影響

	製造	建設	卸・小売	サービス他	合計
事務量の増加	17	53	28	41	139
税負担の増加	5	23	5	20	53
その他	3	6	6	5	20
合計	25	82	39	66	212

④インボイスを登録しない理由

	製造	建設	卸・小売	サービス他	合計
取引先が一般消費者	3	5	9	18	35
免税のままいたい	4	3	9	9	25
事務が面倒	2	1	3	6	12
その他	0	0	3	10	13
合計	9	9	24	43	85

5. 商品券の発行事業の要望・制度の改善点

来年度以降の事業実施の要望

	製造	建設	卸・小売	サービス他	合計
有	5	33	30	37	105
無	16	45	14	49	124
合計	21	78	44	86	229

* 改善点、要望事項等

- ・大型店舗抜きで、実施してほしい行政とか補助金等を利用してほしい（製造業）
- ・当初の目論見より、使用に偏りが出てきている（卸・小売業）
- ・飲食業の閑散期だとありがたい（サービス業）
- ・使う場所と使わない場所があり、要望無の職種もあるため対応求む（サービス業）
- ・割合率と発行数の増加（サービス業）
- ・商品券の発行では何も救われない気がする（サービス業）

6. 胎内市・商工会に対して希望する支援策

【胎内市】

- ・胎内市の人口を増やすべく対応と、休耕地利用を行って欲しい（建設業）
- ・胎内市の人口減少対策のためにプレミアム商品券の発行を行ってほしい（建設業・卸・小売業）
- ・建設工事券の発行（建設業）
- ・住宅リフォーム補助金を続けてほしい（建設業）
- ・もっと市内にお金が回るような政策をしてほしい（卸・小売業）
- ・各種予防接種の費用補助、催し物の開催（サービス業）

【商工会】

- ・支援金、補助金、助成金などの話があれば引き続きお知らせして欲しい（製造業）
- ・商品券の引渡をする際、番号による管理をしてもらいたい（建設業）
- ・販路開拓のサポート、補助金等の資料作成サポートをお願いしたい（建設業）
- ・商品券の金額を増やして欲しい（建設業・サービス業）
- ・中小企業が参加できる合同企業説明会、インターンシップマッチングフェア、新入社員のマナー研修を主催してほしい（建設業）
- ・あらゆる制度の情報提供をお願いしたい（建設業）
- ・e-taxや電子請求等、身近で簡単に始められるデジタル化の具体的な使い方の講習、周知をお願いしたい（建設業）
- ・地元券と全体割合券を5：5にしてほしい（建設業）
- ・設備に伴う補助金等があったら教えてほしい（卸・小売業・サービス業）
- ・地元企業の活性化の為に、商品券発行事業を毎年3回以上実施してほしい（卸・小売業）
- ・人材確保の支援の強化（卸・小売業）
- ・市内のお店にお金が回るような政策をしてほしい（卸・小売業）
- ・商品券の発行時期をお盆頃～9月の祭り頃にしてほしい（卸・小売業）
- ・社長が高齢の為、役員の後継者をお願いしたい（卸・小売業）
- ・全国の成功事例を調査して集計し、そのデータを基に商品券の在り方を考慮すべき（卸・小売業）
- ・商品券は継続して欲しい。換金するための手数料がかからないのはありがたい。予算の関係はあると思うが、一律にしてほしい。還元率をもっとあげてほしい（卸・小売業）
- ・飲食業の景気が戻っていないため、対策を練ってほしい。バル事業は一部であったため、一般の人にも広く使える形にしてほしい。（サービス業）
- ・商品券は飲食店に特化した支援にしてほしい（サービス業）
- ・飲食店が暇であると仕入先、代行、タクシー等が回らないため、胎内市が活気づくようなイベントの実施をお願いしたい（サービス業）
- ・新紙幣変更に対する支援をお願いしたい（サービス業）